

謹告 有馬朗人先生ご逝去

12月7日、有馬朗人先生が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。科学オリンピック派遣事業の振興に尽力をされましたことに改めて感謝いたします。ご冥福を祈り申し上げます。

有馬先生は、理数教育の振興、若者たち能力の開発・育成の重要性を訴え、行動してこられました。2005年の世界物理年のときには、「世界物理年日本委員会」の委員長としてリーダーシップを取られ、物理オリンピックへの派遣に向けた「物理チャレンジ」の実施をはじめ、国民の科学・技術の素養を高めるための様々なイベントの企画などに関わってこられました。

その後も科学オリンピック事業推進のために政財界など広く社会への働きかけに尽力され、大きな動きを創ってこれられました。また自ら「創造性の育成塾」を開設し、中学校の生徒たちを励ましてこられました。

理数教育振興のために様々な人々を巻き込んで大きな流れを創っていく先生の人徳と熱意を思い出し、今もなお感動を覚えます。

また複雑な原子核の構造に関する理論研究についてずっと情熱を持って関わっておられ、一方で一流の俳人でもありました。偉大な人物でありながら、学生たち、生徒たちへの優しい眼差しと語りかけがありました。

「巨星墜つ」の寂しさがありますが、先生的情熱を頂いた私たちは、そのご遺志を継いで、科学オリンピック事業の推進にさらに邁進してまいりたいと思います。

日本科学オリンピック委員会 運営委員長 北原和夫